

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイ ゆめときわ2 (児童発達支援)				公表日	令和7年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		広くはないが、個室を用途に分けて工夫して利用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基礎要員に加配人員1取りを配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	階段に手すりを付けたり、段差が無いよう工夫している。	事業所に上がるまでに階段があるので、荷物が多かったり、補助が必要な子がいるため、注意が必要になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		衛生面に気を配り、毎日の清掃・消毒を心掛け、清潔に保てるように心がけている。	フロアのマットの劣化があるため、順次新しいものに変えていっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		集中して作業部屋、クールダウンに必要な部屋など場面によって対応している。	個室に子ども達だけにならない様な職員の配置に注意しなければならない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		定期的にフロア会議等をして、職員間の共有・振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者向けの事業所評価を行い、意見の把握、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員向けの事業所評価・朝礼・終礼・フロア会議等で把握する機会を設けて改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内での複数回の研修・外部研修への参加の機会を設けている。	もっと外部研修への参加の機会を設けるように指定校とします。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	職員全員の支援プログラムに関する意見をまとめて作成している。	今年度中にホームページに記載する予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		子どもの情報を職員間で共有し、課題やニーズの聞き取りを行い児発管が作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		情報の共有をしたうえで、会議を行い職員全員で共通理解を進めながら作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画の内容は会議で職員間で共有され、支援を行っている。	計画の認識の違いなどがある場合もあるため、しっかりと共通認知できるようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		フォーマルなものに加え、日々の様子を記録し、確認している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに沿って、職員間での話し合いで、具体的な支援内奥を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員間に話し合い、担当者を中心にイベントに取り組んでいる。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定化しないように職員間で話し合い、季節のイベントなどを取り入れながら計画している。	常に新しいプログラムが無い職員間での話し合いを継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別活動・集団活動は必要に応じて作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝朝礼で打ち合わせ、共有をできるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		何かあった時は職員間での共有と、記録に残し、次の日の朝礼でも共有できるようにしている。	休みの職員への情報の共有を気にかけて動くようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援記録は毎日取り、問題点に関しては話し合い、改善できるよう努めている。利用が無くても重要な情報は記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		会議を行い、児童一人一人の毎日の支援経過をもとに、必要であれば見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		基本は管理者が出席している。それが難しい場合は、代理の役割ができる職員が出席している。	管理者以外の適切な職員を増やしていくために、管理者と一緒に参加できる機会を増やしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		要請などがあった場合などにすぐに対応できるような体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		情報の共有を行い相互理解を図っている。必要があれば担当者会議などを行うようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		必要に応じて情報の共有ができるような体制を整えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		研修などには参加し、連携はしているが、少ないと思う。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	外出イベント時に地域の子供達との交流の場はあるが少ない。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は、様々な問題が考えられるためできていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時、連絡帳、電話連絡でも共通理解を持てるよう努めている。必要に応じて面談も行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	機会は少ないが、保護者会などで情報共有させていただいている。	職員のスキルによるため、勉強会などで知識を高めていく。保護者会等で必要に応じてアドバイスをしたり、ニーズや児童の特性にあったアドバイスなどを提案している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明させていただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		契約時に、保護者様の意向や願いをヒアリングして、支援に組み込むようにしている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		送迎時や難しい場合は電話連絡にて説明させていただいた後、署名をいただき、控えを渡すようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて電話連絡や個別で年団などをさせてもらっている。	職員のスキルによるため、勉強会などで知識を高めていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年に1海の保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を設けている。	兄弟同士で交流する機会については、現状できていないが、機会があれば取り入れていきたいと思う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速に対応できるような体制の整備はしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月会報を発行して活動の様子などを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		十分注意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必要に応じて対応させていただいている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	8	地域住民との交流はできていない。	地域住民を招待する場合のリスクなどがあるため現状開催していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		策定と訓練は行っている。	策定はしているが、保護者様への周知の仕方を検討中である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPの計画で定め、毎月避難・防災訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時のアセスメントの際に確認している。状況が変わり次第保護者様と共有させていただいている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギー調査票に記入してもらい、医師の指示に基づいた情報を保護者様から提供してもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		計画を元に訓練や勉強会を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		今年は保護者会で周知している。参加できなかった保護者様には手紙にて周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎月提出している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修の実施と委員会の設置を行い、周知徹底をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		該当児童は居ないが、いつでも対応できる準備はしてある。	